

## 16 六名学区総代会（岡崎市）

### 地域自主防犯活動活発化促進事業

#### 実施結果報告書

1 団体名	六名学区総代会
2 事業名	六名学区内の住宅対象侵入盗撲滅事業
3 事業実施結果	<p>(1) パトロール資材を購入し、パトロール活動を強化 学区内の子どもの見守りを主体にした 193 名で組織する「六名学区安全パトロール隊」、および 5 名で組織する青色回転灯による「六名学区防犯パトロール隊」を除き、防犯活動を主体とする町ごとの組織は全 24 町のうち 6 町 107 名のみであり、町によって防犯意識の差が存在しました。</p> <p>(イ) 防犯活動組織の拡充強化 8 月に組織化を促した結果、小規模の町では 2 町合同で組織するところもありますが、新規に 13 団体（134 名）が組織され、すべての団体が岡崎市自主防犯団体連絡協議会に加入したことにより、防犯主体の活動団体は全 20 団体（246 名）に強化されました。 岡崎市自主防犯団体連絡協議会への加入により、岡崎市より防犯活動資材が団体に支給され、ボランティア保険の対象となりました。各団体は毎月 1 回以上防犯パトロールを実施することとしました。また、隣接の町へのパトロールを互いに加えるように行い、実質 2 回以上のパトロール活動がなされるよう効果的な活動を推奨しています。 青色回転灯装着車による通称「青パト隊」も 8 月～12 月の 5 ヶ月間で 43 回の巡回活動を実施しました。その際、曜日や時間を変えてパトロールを実施しました。 (登録防犯活動団体一覧表およびパトロール写真 ①参照)</p> <p>(ロ) 「防犯パトロール 実施中」装着車を区域内走行 学区内の商店などの車両に「防犯パトロール 実施中」と表示したマグネットシート装着車を走らせ、「地域の目、人の目」があることを知らしめるとともに、住民へのアピールを行いました。学区内を商用などで多く走行する車両にお願いしました。 (装着車写真 ②参照)</p>

(ハ) 警察地域合同パトロールの実施

秋の安全なまちづくり県民運動期間中の10月16日に、岡崎警察署、岡崎市役所安全安心課も参加し、夜間パトロールを実施しました。当日の夜7時より岡崎市体育館駐車場に各町防犯パトロール隊員116名が集合し、4ルートに分かれてパトロールを実施しました。

コロナ禍でもあり人数を多少絞った形でのパトロールでしたが、新規に組織した地域の代表者もこれに参加しました。

(警察地域合同防犯パトロール写真 ③、④参照)

(2) 住宅対象侵入盗を撲滅するための啓発活動を実施

(イ) 毎月「防犯かいらん」を作成し、啓発のため回覧を実施

事業を開始した8月より、毎月「防犯かいらん」を660部作成し、住宅侵入盗を防ぐための対策を全住民に知らせ、他人事ではないと思わせるよう周知を図りました。紙面に写真やイラストを加えて見やすいように工夫しました。また、警察署発行の防犯チラシなどもこれに加えました。

(「防犯かいらん」8月～12月号写真 ⑤参照)

(3) 住宅対象侵入盗対策として、防犯資材の付与設置を実施

(イ) 住宅対象侵入盗対策として、補助錠の取付けを実施

昨年(令和元年)侵入盗が急増したことに伴い、補助錠の配布を秋に実施し、822個の取付けをしました。今年に入っても前半は侵入盗増加の傾向がつづき、6月までの半年間で空き巣が7件発生しました。7件中6件が補助錠を付けずに被害に遭っていました。

今回の事業に参加し、さらに補助錠取付けを進めるため400個を用意しました。8月に空き巣1件(今年8件目、補助錠無し)が発生したことを受け、希望者が増え、更に150個を追加し、合計550個の配布取付けを行いました。その後4ヶ月は被害は発生していません。

(補助錠設置指導写真 ⑥および補助錠の写真 ⑦参照)

(ロ) 住宅対象侵入盗対策としてセンサーライトの取付けを実施

門灯などが無く家の周辺が暗い家、奥まった家、周りの見通しの悪い家、過去に空き巣被害に遭った家などを中心に、35個のセンサーライトを付与し設置しました。当初計画していたソーラー式ではなく、配線の必要がなく設置やメンテナンスが簡単な乾電池式を採用し、LEDライトのものに変更して取付けました。費用が安く、計画数量より5個増やすことができました。

(センサーライト取付写真 ⑧参照)

六名学区内の住宅侵入盗撲滅事業 資料写真

① 新規登録団体のパトロール活動



② 「防犯パトロール 実施中」装着車



③ 警察と地域合同パトロール



④ 警察と地域合同パトロール



⑤ 「防犯かいらん」8月号～12月号



⑥ 補助錠取付け指導



⑦ 取り付け済補助錠



⑧ センサーライト取付け



《資料》

六名学区 防犯団体

既登録団体			
	団体名	人数	加入
1	六名学区安全パトロール隊（子どもの見守り・交通安全）	193	有
2	六名学区安全パトロール隊（青色回転灯によるパトロール）	5	有
3	六名南防犯安全パトロール隊	10	有
4	六名新町パトロール隊	37	有
5	六名東町パトロール隊	23	有
6	南明大寺町自主安全パトロール隊	8	有
7	六名本町防犯パトロール隊	20	有
8	上六名1丁目自主防犯パトロール隊	9	有
新規登録団体			
9	上六名2丁目会	5	有
10	南明大寺2区自主防犯活動隊	15	有
11	六名本町1区防犯パトロール隊	14	有
12	六名2丁目防犯パトロール隊	11	有
13	六名1丁目防災防犯協会	12	有
14	六名3丁目防犯パトロール隊	12	有
15	真宮町防犯パトロール隊	14	有
16	三崎町自主防犯隊	8	有
17	明大寺葵防犯パトロール隊	7	有
18	久後崎2区防犯パトロール隊	5	有
19	久後崎1区防犯パトロール隊	15	有
20	上六名4丁目防犯パトロール隊	11	有
21	向山町防犯パトロール隊	5	有

合計 439名

4 成果と課題  
及び今後の  
課題

(1) 事業実施の成果及び課題

(イ) 新規の町単位の防犯活動による学区全体の防犯意識の高揚

従来、子どもの見守りと登下校時の交通安全を目的とした、193名からなる「六名学区安全パトロール隊」、5名からなる青色回転灯装着した「六名学区防犯パトロール隊」を除き、防犯を目的とした町主体の団体は24町のうち、

6団体(107名) → 19団体(241名)

に増加し、岡崎市自主防犯団体連絡協議会に加入しました。

新規団体は設立加入により、防犯活動に必要な帽子、ベスト、青色点滅灯などの資材を岡崎市より提供を受けることが出来ました。

毎月1回以上のパトロールを義務付けていますが、町によっては隣接の町と話し合い、隣接町へも拡大してパトロールを実施しています。それにより町内に月2回のパトロールとなるよう工夫している団体もあります。また、組長を交替で参加させて、防犯意識の高揚を図っている団体も見受けられるようになりました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大に伴って、毎年8月と12月に実施している「警察と地域合同パトロール」は中止となり、10月の「安全なまちづくり県民運動」期間中の10月16日に、新規防犯団体を組織化した町の代表者など、116名が参加した合同パトロールを特別に実施しました。今後も岡崎警察署と連携し、定期的の実施していきたいです。

防犯に対する住民への意識づけが重要であり、パトロール中に気づいた(イ)街灯の球切れ(ロ)門灯が点いていない家(ハ)家の周りが暗い家(ニ)暗い駐車場などを個々の家と話し合っ解決していく努力が今後必要です。

学区内では住宅対象侵入盗のみならず自転車盗も多く発生し、また、自動車盗や車上・部品ねらいなども毎年1～2件発生しているため、パトロールの日時や方法も変化をもたせて実施していくことが必要です。

(ロ)「防犯かいらん」の継続発行による啓発

従来、一部の町のみが防犯に関する内容を含めた「かいらん」を発行していましたが、今回8月より毎月「防犯かいらん」を作成し、全学区内を回覧するようにしました。補助錠やセンサーライトを勧める際に、「学区内でこんなにも犯罪や空き巣が多いとは知らなかった」との声を多く聞きました。身近に起きた犯罪には敏感に反応しており、警察署からのニュース、事件の新聞記事など、写真やイラストを取り入れた、見やすい「かいらん」を今後も継続して発行していきたいです。

(ハ) 補助錠やセンサーライト取付けによる安心感と意識の高揚

補助錠は現在、1個1,000円を超えることが多いです。今回の取付けにあたって、「取り付ければよい事は解っていたが数個付ければ金額も増すので、今までそのままにしていた」という声が多く、自分の身に降

りかからないと行動を起こすことが出来ていません。昨年 882 個の補助錠を取り付けましたが、今年になっても空き巣被害が収まらない状況を知り、今回予定の 400 個を越し、150 個を追加して取付けを行いました。しかし、身近で事件が発生すれば希望者が今後も出てくる可能性もあり、学区および町で補助し費用軽減を考慮する必要も出てくると思います。

(二) 六名学区の侵入盗件数の推移

年	侵入盗	住宅侵入盗	他 侵入盗
2017 年 (1～12 月)	1 件	0 件	1 件
2018 年 (1～12 月)	7 件	4 件	3 件
2019 年 (1～12 月)	14 件	9 件	5 件
2020 年 (1～12 月)	10 件	8 件	2 件
2020 年 (1～7 月)	8 件	7 件	1 件
2020 年 (8～12 月)	2 件	1 件	1 件

(註：2020 年 12 月の件数は暫定値)

今年前半の 1 月～7 月までに侵入盗 8 件、住宅対象侵入盗 7 件と、前年を上回るペースで急増し厳しい予想をしていましたが、今回の促進事業参加期間の 8 月～12 月は減少し、通年で前年並みの件数に抑え込むことができました。しかし、年間では急増した 2019 年に近い発生件数であり、今後も一層防犯活動の啓発に注力して、発生件数の減少に努めたいです。

(2) 今後の取組み

組織化した防犯団体の活動を地道に継続していくことが必要です。

年 間	2017	2016	2015	2014	2013	2012
空き巣など	0 件	3 件	0 件	1 件	3 件	11 件

2012 年は空き巣などの住宅対象侵入盗が 11 件発生しました。その時に絵入りの「防犯パトロール中 空き巣に注意」の看板を多く作成して各地に掲示しました。また、青パトの巡回数を増やすなどパトロール活動を強化したことが、2013 年以降の減少につながったと推測されます。今回組織された多くの防犯団体が行う地道なパトロール活動や啓発活動を通じて、侵入盗のみならず、多く発生している自転車盗対策にも今後力を注ぎたいです。